

平成 29 年度京都大学防災研究所共同研究集会「台風研究会」
ー激甚化する台風災害の要因解明と減災へ向けてー

日時： 平成 29 年 9 月 28 日（木）・29 日（金）

場所： 京都大学宇治キャンパス 防災研究所連携研究棟 3 階大セミナー室

※会場は、http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/00gaiyo/campus_map.html
の水色 5 番の建物です。

（JR 奈良線黄檗駅、京阪電車黄檗駅 徒歩約 10 分）

主催： 京都大学防災研究所

プログラム （講演 15 分・質疑 5 分）

9 月 28 日（木）

13:00-13:10 趣旨説明 和田 章義（気象研）

第 1 セッション 地球温暖化・環境場

座長 金田幸恵（名古屋大）

13:30-13:50 擬似温暖化実験による 2016 年台風第 7 号の将来変化予測

金田幸恵（名古屋大）・坪木和久・辻野智紀

13:50-14:10 日本に襲来した猛烈な台風に対する擬似温暖化実験

豊田将也(岐阜大)・吉野純・小林智尚

14:10-14:30 56km mesh NICAM を用いた Perpetual 実験による強 El Nino
年(1997/2015 年)の熱帯低気圧活動の相違

石山尊浩（東大大気海洋研）・佐藤正樹

14:30-14:50 モンスーン渦に伴う台風の特徴

山田広幸（琉球大）

14:50-15:10 2016 年 8-9 月の台風の温帯低気圧化について

高村奈央（名古屋地台）・和田章義

14:50-15:10 台風強度予測ガイダンス LGEM の開発

入口武史（気象研）・嶋田宇大・大和田浩美・

山口宗彦・沢田雅洋

15:10-15:30 休憩

第2セッション	防災・予報
座長 伊藤耕介 (琉球大)	
15:30-15:50	台風の勢力と死者・行方不明者の関係 津島俊介 (気象研)・牛山素行
15:50-16:10	"Deep Learning" を用いた台風強度推定・発達予測 加瀬紘熙 (横浜国大)・筆保弘徳・北本朝展・ DanlanChen・山崎聖太
16:10-16:30	統計解析による台風中心気圧予報 柴田大河 (琉球大)・伊藤耕介・山田広幸・ 宮田龍太・棚原慎也
16:30-16:50	畳み込みニューラルネットワークを用いた台風の強度予測 棚原慎也 (琉球大)・石垣博章・伊藤耕介・ 山田広幸・柴田大河・宮田龍太
16:50-17:10	高解像度大気モデルと結合モデルによる北西太平洋全域台風 予測実験 伊藤耕介 (琉球大)・沢田雅洋・山口宗彦
17:10-17:30	WMO/IOC JCOMM ワークショップ「海洋観測の利用による台 風の理解と予測精度向上」報告 竹見哲也 (京大防災研)
18:30-20:30	懇親会
9月29日 (金)	
第3セッション	台風海洋相互作用・発達(1)
座長 伊藤純至 (気象研)	
9:00-9:20	台風のLESでみられたロール構造の安定性解析 伊藤純至 (気象研)・伊賀啓太・新野宏
9:20-9:40	CYGNSS 小型衛星群による海上風の高頻度観測 市川香 (九大応力研)・GROWTH team
9:40-10:00	衛星観測に基づく海面フラックスデータセット J-OFURO3 で 見る台風 富田裕之 (名古屋大)・加古真一郎・日原勉・ 久保田雅久・轡田邦夫

10:00-10:20	台風の強度変化に対する黒潮の遠隔影響 藤原圭太(九大)、川村隆一、川野哲也
10:20-10:40	休憩
10:40-11:00	台風の急発達過程に与える環境条件の影響 山崎聖太(京大防災研)・竹見哲也
11:00-11:20	気象レーダーで観測された台風の壁雲の傾斜と強度の関係 田盛智翔也(琉球大)・山田広幸
11:20-11:40	台風の大きさの変化と降水分布の関係に対する台風強度や強度変化の影響 辻宏樹(東大大気海洋研)・中島健介
11:40-13:00	休憩
第4セッション	発達(2)・発生・進路
座長 中野満寿男	(海洋研究開発機構)
13:00-13:20	ひまわり 8 号の台風機動観測から算出される大気追跡風と数値予報への利用に向けた開発の紹介 下地 和希(気象庁)
13:20-13:40	早期ドボラックで検出された台風になれなかった熱帯擾乱の特徴と環境場 ~台風発生最終条件~ 筆保 弘徳(横浜国大)・室井 ちあし・西村 修司・ 別所 康太郎・小出 直久・山口 宗彦・吉田 龍二
13:40-14:00	TC 発生環境場に特徴的な流れ場パターンの長期平均的な特徴 吉田龍二(理研)・筆保弘徳
14:00-14:20	北緯 25 度以北での台風発生について 中野満寿男(海洋研究開発機構)
14:20-14:30	休憩

14:30-14:50	富士山中腹における気象観測	佐藤元（日本気象予報士会）
14:50-15:10	台風経路アンサンブルシミュレーションを用いた台風リスクの算出	宮崎駿（横浜国大）・筆保弘徳・山崎聖太・ 竹見哲也・加藤雅也・坪木和久
15:10-15:30	東北地方太平洋側に上陸した台風 1610 号の進路解析	吉野純（岐阜大）・中田勇輝・古田教彦・小林智尚
15:30-15:50	台風 1610 号衰退期に見られた対流バースト	和田章義（気象研）・小山亮
15:50-16:00	閉会の辞	竹見哲也（京大防災研）